

「あるといいよね！ 避難所運営委員会～立ち上げや運営について話そう～」

報告書

日時:令和8年2月3日 10:00～12:00

場所:四街道市旭公民館 1階ホール

四街道市内でも、まだまだ少ない「避難所運営委員会」の立ち上げ。

「自分の住む地域に「避難所運営委員会」がないと、
どうなるのだろう…？」

「どんなふうに立ち上げたらいいのか…？」

災害時に避難所を運営する側として活動される自治会の方や関心のある方に、これからの避難所開設や運営についてのヒントにさせていただけたらという思いから、今回は四街道市旭公民館の1階ホールで、

『あるといいよね！ 避難所運営委員会～立ち上げや運営について話そう～』を開催しました。



平日の開催ではありましたが、市内15自治会の方がた、子ども会の方、指定避難所となる市内の公民館職員の方の参加もあり、避難所運営に関心のあるたくさんの方にご参加いただきました。

まず、はじめに、四街道市危機管理監の方から、「一度助かった命」を失わせないために～避難所運営委員会の必要性について～と題し、四街道市の被害想定や防災の取り組み、避難所運営委員会とはどういう組織なのか？現状と立ち上げについてなどお話をうかがいました。

「四街道市は災害に強いでしょうか？」

と、いうお話を耳にすることが多いけれど、実際のデータでは、

- 今後30年以内の地震の発生確率は、5強以上の地震は98.1%、6弱以上の地震66.2%と、いま大地震が起きても不思議ではない。
- 津波の被害の可能性は低いけれど、建物の倒壊や火災による被害や死者やけが人が想定される。
- 四街道市に帰れない帰宅困難者が多数発生する。

などの問題がありました。



千葉県は3つのプレートが重なり合う珍しい場所にあり、地質的にも四街道市は揺れやすさが全国7位以内で、がけ崩れや土砂災害の危険性が高い場所が市内に49箇所あるそうです。

また、四街道市内で避難が想定される人数は、11,686人(災害発生1週間後)。多くの方が避難所や避難所外での避難生活を余儀なくされることが想定されていました。



災害時の共助の大切さとして、阪神淡路大震災のときに生き埋めや閉じ込められた際の救助では、

- 自助、共助(自力、家族、友人・近隣など)97.5%
- 公助(救助隊など)2.5%

と圧倒的に自助・共助による救助が大きかったそうです。



- 四街道市の自治会による自主防災組織の設立状況は、全87自治会中57自治会(66%)
 - 四街道市内の避難所運営委員会は、指定避難所数27箇所中10箇所(37%)
- 避難所運営委員会は昨年度から1箇所増えてはいるものの、まだまだ少ない現状です。それぞれの活動には市からの補助やサポートがあり、四街道市では100%の設立を目指しているそうです。

また、講座タイトルにもあるように、一度助かった命であっても、熊本地震では災害のショックや避難所や避難生活の劣悪な環境による災害関連死が全体の80%を占めたそうです。

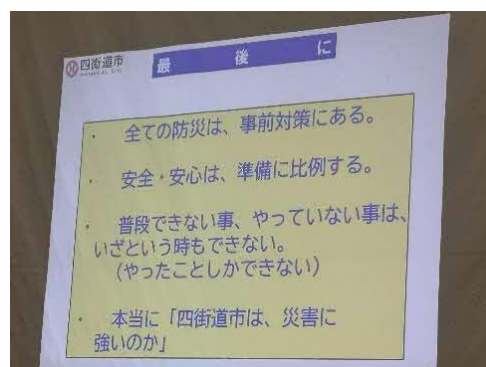
能登半島地震では割合は減りましたが、災害後の呼吸器疾患、循環器疾患などの災害関連死が全体の60%だったそうです。

避難所では清潔なトイレ、温かい食事、睡眠環境の整備が災害関連死の予防につながるため、避難所運営委員会で事前に話し合っ、みんなで協力し合うことが大切だとうかがいました。

公助である市の防災体制は、1避難所につき最大8名の配備職員を定めており、速やかな避難所開設が災害関連死の予防につながることから、訓練や研修を行っているとのことでした。

配備職員は2時間~24時間以内に出勤可能な職員だそうで、突如として発生する災害に対し、現実問題として、市の職員だけの避難所の開設や運営は困難となるため、地域で避難所運営委員会を立ち上げ、日頃から市と地域住民が顔を合わせ、連携することの大切さを感じました。

個人でも地域でも、日頃から備えや訓練などの準備しておくこと、避難所運営に住民が積極的に関わる自主防災組織や避難所運営委員会が地域で担う役割の重要性や準備の大切さについて考える機会となりました。



つぎに、四街道市内の事例紹介として、2024年10月新たに立ち上げた千代田中学校避難所運営委員会の方に、避難所運営委員会をどうやって立ち上げられたのか、立ち上げたばかりの運営委員会をどのように運営したらいいのか、ご自身の経験からお話しをいただきました。

まず、住民の実情として、自分の避難する避難所の場所を知らない人が多いことが課題だったそうです。そのため、避難所運営委員会立ち上げのお知らせと、どこに避難するかを知らせるリーフレットを作成し、配布したそうです。



運営委員会を立ち上げてから 10 か月間、自治会で月1回の話し合いを行い、苦労したところは、自分のところは大丈夫という人がいるなど意識に温度差があることや、予算の問題など、まとめるのが大変だったそうです。何回も話し合ううちに、だんだんと避難所運営委員会の意義を感じてもらったそうです。

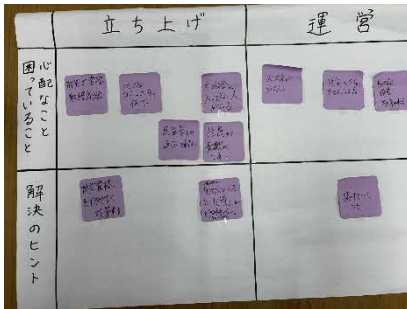
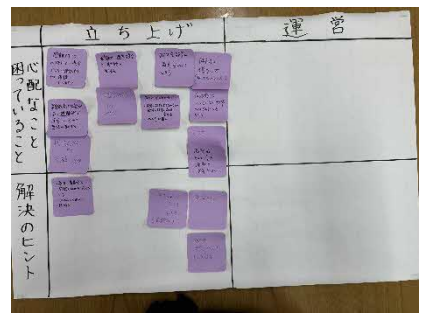
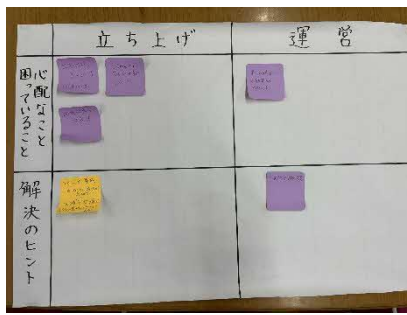
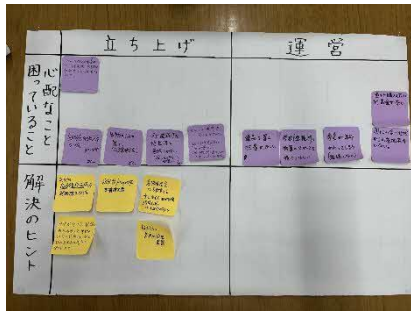


また、マニュアル作りなどは、専門知識を持った人がいるとスムーズにいくため、地域で防災士を育成することが大切とのことでした。ただ、市のガイドラインやマニュアルは膨大なため、地域の実情に合わせてピックアップすることが必要とのことでした。

避難所運営委員会を立ち上げることは市の危機管理室のサポートがあり、自治会の合意があれば比較的スムーズに立ち上げることができるそうですが、その後の地域の人々の理解を得るための話し合いや工夫が大切だと感じました。

つぎに「グループで避難所開設や運営について話してみよう」では、避難所運営委員会の立ち上げや運営について「困っていること、心配なこと」は何かを話し合いました。そのあと、登壇いただいたお二人のお話の中や、防災士の方、実際に避難所運営委員会を運営されている方を交えて、「解決のヒント」を出し合っていました。





【心配なこと、困っていること】

●立ち上げ

- ・自治会役員が毎年変わってしまう
- ・災害に対する意識がうすい、温度差がある(住民、自治会)
- ・自治会の加入率が低い
- ・自治会に入っていない世帯へのはたらきかけ
- ・非会員に防災意識、発災時の対応等をどう伝達するか？(周知方法が無い)
- ・自治会をまたぐ場合の連携、同じ避難所の他団体と連絡とれない(会うきっかけが無い)
- ・住民の防災意識があまり高くない
- ・地域の高齢化、高齢者が多く活動が進まない
- ・立ち上げのメンバーが集まらない、きっかけがない
- ・立ち上げの方法自体がわからない、立ち上げの実施が良くわからない
- ・自治会員への発足までの案内、手法は？
- ・避難所運営委員会と自主防災組織の関係
- ・防災士資格取得方法

●運営

- ・組織の維持、人材がない
- ・自治会役員毎年かわる、委員が毎年かわってしまう(継続しない)
- ・避難所に入りきれない場合、となりの避難所との連携(平時)
- ・複数自治会が同じ避難所で運営していくので連絡の取り方
- ・他自治会との温度差、調整
- ・関係部署との連携が困難(例:会合等の開催曜日)
- ・避難所が遠い
- ・学校(避難所)に備品を置く物置のスペースを設けてほしい
- ・色々で購入したいがお金がない(防災はお金がかかる、資金や手当て)
- ・非自治会員と自治会員との対応は？
- ・関心のない地域からの参加者がいない
- ・住民の防災意識があまり高くない(例:防災訓練は1,000人中、170人位参加)



【解決のヒント】

●立ち上げ

- ・毎月、委員会を開催しながら進んでいる
- ・一緒に学ぶ 考える 話し合う(客観性)、意識を変える
- ・活動をライフワークとしてとらえる
- ・防災に興味ある小学生が多いので小学校など向けに配布資料(データでも)を作成
- ・長く地域活動に貢献している人に協力を要請
- ・市・危機管理課・防災士(防災資格)連絡会と連携
- ・防災士を増やす(防災士がいる場合でもみんなで進めていくことが重要)
- ・防災担当が長期的に活動し、仲間を増やす
- ・「災害時など自治会に入るとお得」と非会員に伝えられるとよい
- ・自治会員証を作った
- ・全戸配布と広報紙を活用して、平時から防災の必要性、発災時の自治会の対応を発信する
- ・防災井戸の利用 優先券
- ・危機管理室から助言を得るなどして音頭をとる人が必要
- ・自主防災組織の充実が必要

●運営

- ・避難訓練(HUG など)
- ・市・危機管理室・防災士(防災資格)連絡会
- ・防災士を増やす
- ・防災に定型はありません、「私ならどうする？」を考え出す
- ・防災・減災の教育の場を増やす
- ・周知、広報の充実
- ・広報活動の活性化
- ・自治会力の強化
- ・防災士取りたくても遠方で行かれない
- ➡近隣で受講可能な場所を増やしてもらう、オンラインで取得できないか？
- ・続けていくこと

また、皆さまからの質疑応答については次の通りです。

【四街道市 危機管理監】

Q1. 段ボールベッドは効果が高いと聞いたが、市ではクッションを用意していると言われた。市で段ボールベッドの用意はありませんか。

A1. 段ボールベッドは、落ちてけが/湿気で使えなくなる/保管が大変などの理由から、段ボールベッドでなく、簡易ベッドを保有しています。

Q2. 避難所運営委員会ができていないところは、市はどんな対応をされるか。

A2. 公平性を保持するため、あるところと同様に市として支援をします。

Q3. 避難所に避難者が全員入れるかどうか

A3. 平成31年に「四街道市各区・自治会避難所割振計画」に基づき、各自治会ごとに指定避難所へ避難してもらうこととしています。在宅避難者を加味すると、各避難所はおおむね受け入れ可能と想定しています。人数の都合上、他の避難所への移動などが必要になった場合は、避難所運営委員会と市が連携して対応していきたい。

Q4. 避難所配備職員と避難所運営委員会の顔合わせはどのように調整するのですか。

A4. 声かけは、危機管理室を通じ、災害対策本部避難所班(社会教育課)が本人との間で行います。

Q5. 配備職員はどのような職種の人か？ 保育士も来るのですか。

A5. 配備職員は、部課長を除く、徒歩でも2～24時間以内に來られる人(2時間以内優先)を選定しており、保育士も選定の対象に含めている。(研修や訓練などにも出てもらう)

Q6. 避難に関わるIT化について。自治体向けの防災アプリの活用について。(避難指示の通知配信、マイナンバーカードを使用した避難所へのチェックイン、避難所の混雑状況の確認等はできないか。)

A6. 検討します。現在避難に関する情報は、「よめーる」により防災無線と同様の情報などを一斉に流す方法をとっています。これで、避難所の開設などのお知らせをすることとしています。

【千代田中学校避難所運営委員会】

Q1. 避難所を6つの団体が使います、調整やリーダーの決め方などは？

A1. はじめは、自治会長、副会長などが中心に、女性に働きかけると、地域の方に広めてもらえたり、情報が集まったりと、協力をしてもらえました。声をかけると、防災に関心のある人は、意外と多くいます。温度差はありますが、何回も働きかけると、だんだんとわかってもらえるようになりました。地域の人の関心を持ってもらうために、餅つき大会などで防災の話をしたり、祭りで啓発のチラシを配布したりしています。

Q2. マニュアルの功罪とは？

A2. マニュアルがあることで、そこにとらわれてしまうことがあります。マニュアルは文書量が膨大で、全部はとてできません。自分自身が、何回も読みながら理解して、自分たちの必要なところを取り出して活動に活かせるものを作っていくことが大切だと思います。

追加 Q 一度危機管理室に準備委員会を開いてもらった。その後、規約・マニュアルの作成が済んだところで活動が止まってしまったのだがどうすればよいか。

A 規約・マニュアルを会議で議決することが必要ですので、危機管理室に再度相談いただきたいです。

今回、四街道市危機管理室の方、千代田中学校避難所運営委員会の方からのお話をうかがい、四街道市の災害想定や防災組織の現状、取り組み、実際の避難所運営委員会の立ち上げや運営について知ることができました。また、たくさんの自治会や防災に関心を持つ方々にご参加いただき、様々な地域での取り組みの情報共有や課題解決のヒントを考えるグループワークをとおして、貴重なご意見や地域の課題解決のヒントを皆さんで共有できました。

今回の講話やグループでのお話しが、地域での自主防災組織や避難所運営委員会の立ち上げや運営のお役に立てる機会になれば幸いです。

ご登壇いただいた皆さま、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

(参考)

・危機管理室には運営マニュアルなど参考になるひな型があります。

リンク:災害時における避難所運営マニュアル 四街道市

https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/smph/kurashi/bohan/bosai/hinanjo/shelter_manual.html

・市の補助金を利用して必要なものをそろえることができる。

リンク:四街道市自主防災組織補助金申請書 四街道市

https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/smph/kurashi/bohan/bosai/zishubousai/ykd_jbs_hojyo.html

・防災士資格取得への助成金が出ます。

リンク:四街道市地域防災力充実・強化計画 四街道市 R8 年度も実施予定

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/kurashi/bohan/bosai/keikaku/yjichi2025.files/ycbkzk2025.pdf>

・マニュアルや役員名簿ができた後、どうしたら運営委員会が立ち上がったことになりますか。

→各地区の自治会に承認をもらい、危機管理室に届け出てください。

リンク:自主防災組織・避難所運営委員会について 四街道市

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/smph/kurashi/bohan/bosai/zishubousai/zishubosai.html>